

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度		S46~		根拠法令・例規等		
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」		問	担当課(室)	
	中項目	基本計画	07	地域の活力を生む産業を振興させるまち				まち営業課
	小項目	施策	28	賑わいをもたらす観光の振興				
事務事業名		02		観光団体等支援事業		先	職・氏名	観光係長 金藤 康樹
						電	電話	64-1832(274)
						このシート作成に要した時間		1.5 時間

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	観光関連団体
目 的 (何のために)	観光案内サービス、観光PR活動などに取り組む団体等に、補助金を交付することにより、団体の目的達成のための支援をする。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	観光団体等の会員の増加

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するための実施した事業	細事業名	観光協会への運営に要する費用の一部補助(786,000円)		◎
	和意谷史跡保存会助成事業	和意谷史跡である参道の草刈等に対し保存会へ80,000円補助		▲
	八塔寺ふるさと村運営協議会助成事業	資料館、公園管理、遊歩道整備等に対して八塔寺ふるさと村運営協議会へ補助。450,000円		◎
	果ふるさと村運営協議会費	備前(八塔寺)津山(大高下)鏡野(越畑)高梁(石火矢、吹屋)吉備中央(円城)笠岡(真鍋島)が加入している。負担金90,000円		▲

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	4,398	3,401	3,401
	必要人員	人	0.05人	0.02人	0.08人
	費用	千円	4,880	3,584	4,199
	国庫支出金				
	受益者負担				
財源	千円				
市債					
その他()					
一般財源		4,880	3,584	4,199	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標名	説明	観光協会会員数を市人口で除した割合		
	結果指標量		0.91	0.90	0.91
	対前年比	%		98.9%	101.1%
	活動コスト	円	4,880,000	3,584,000	4,199,000
	単位当たりコスト		5,362,637	3,982,222	4,614,286

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
観光協会等会員の人口比	成果指標名	目標値(A)	1.1	1.1	1.1	1.1
		実績値(B)	0.91	0.9	0.91	到達目標値
		達成率(B/A)	82.73%	81.82%	82.73%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
「観光協会等の活動が、会員の増加につながり観光振興に結びつけているのか?」判断材料として人口比率を用いる。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ			B
効率性の評価	コスト			効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度			有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		C

進行年度(H26年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明				○					
	各観光協会において更なる連携を図り、効率的な観光PRを推進する。年度内の統合へ向け協議を進める。								

総合評価		総合評価
各観光協会との連携は観光を推進するうえで不可欠であり、それぞれが情報を共有することがお客様(観光客)へのおもてなしの第一歩と考える。観光協会の統合へ向け協議も進めており、更なる連携と観光の推進が期待される。今後、連携の取れた観光推進に取り組むことが重要である。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標				○					
	観光協会の統合により、さらに連携した観光振興をする必要がある。								

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな